

訪問看護ステーション

あざぶだより Vol.04 2023年1月号



謹賀新年旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。従業員一同、皆様にご満足いただける訪問看護サービスを心がける所存でございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。あざぶだよりでは、引き続き、訪問看護支援の内容を紹介をさせていただきます。



フットケアの支援紹介

今月は、フットケアについて紹介させていただきます。訪問看護の中で、巻き爪などの爪切りは依頼が多い内容です。これらは、単に爪を切るということではなく、「下肢機能を守る」という観点から非常に大切なケアになります。爪や皮膚のトラブルが、歩行や移動動作の妨げにならないように、下肢の観察・アセスメントを行いケアをしています。

● 巻き爪

手足に麻痺のある利用者さんは、健側に負荷がかかる歩き方に変わるため、健側の足趾の爪、特に親指の爪が巻き爪になりやすい傾向があります。巻き爪が皮膚に食い込み、痛みや感染を起こすことがあり、継続的な観察とケアが必要です。

必要に応じて医師、皮膚・排泄ケア認定看護師と連携を図り、ケアを実施しています。

ケア前



ケア後

● 浮腫

高齢者は、加齢による心肺機能や筋力低下による血行不良により下肢に浮腫が起こりやすくなります。浮腫により重だるさや易疲労感、こむら返りなどの痛みが出現することもあります。浮腫の原因が腎臓病や心不全などの疾患、塩分過多といった食生活の乱れ、内服薬の影響による場合もあり、日常生活の様子を伺いながら、注意深く経過を観察していく必要があります。

浮腫の予防として、血行改善のための運動やマッサージの実施、生活習慣改善のための助言・指導を行っています。また、弾性ストッキングや着圧ソックスの着用が有効な場合もありますので、主治医と連携を図りながら使用を勧めています。

● スキンケア（保清・保湿）

フットケアの基礎は、足の保清と保湿です。冬になると空気も乾燥し、皮膚の乾燥が目立ってきます。皮膚が乾燥するとバリア機能が消失し、感染を引き起こしやすくなります。とくに糖尿病の方は細菌感染を起こしやすく、治りにくいです。神経障害により痛みを感じにくいいため、ケガなどの足の異常に気づきにくく、潰瘍や壊疽を引き起こす危険性もあります。

訪問ごとに皮膚の状態、けがの有無などを観察し、状態に合わせて足浴などの保清と保湿剤の塗布を行っています。また、良好な皮膚の状態を維持できるようにセルフケアの指導も行っています。

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

訪問看護ステーションあざぶ TEL011-712-0085

訪問地域：北区、東区 従業員：看護師、理学療法士、作業療法士

介護保険・介護予防訪問看護：緊急時訪問看護加算・特別管理加算・ターミナルケア加算

医療保険：24時間対応体制加算・特別管理加算

営業時間：平日 8:30~17:30

*脳神経外科疾患以外も、癌・難病・認知症・看取り等様々な病気を担当しております。

住所：〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40 札幌麻生脳神経外科病院 1階